

令和4年7月 文書質問及び回答

- 1 質問者 中田豪之助議員
2 質問事項 移住・定住のための住宅施策について

質問の内容・要旨	回答
<p>移住・定住のために重要なポイントはまず仕事と住宅です。本町では移住希望者に対して慢性的な住宅不足の状態です。そこで地方創生臨時交付金を活用して、</p> <p>① 移住希望者に向けて町営の住宅を建設する考えはないか。</p> <p>② また空き家が発生しても、そこに残る家財の整理が進まず、移住希望者の希望に応じられないことが多いので、家財整理の費用について補助する考えはないか。</p> <p>以上お伺いします。</p>	<p>① 町内における住宅供給状況は、ほぼ慢性的に不足している現状から、移住・定住施策としての住環境整備は、空き家対策を含め、最重要課題であると認識しております。</p> <p>住環境整備及び関連する施策は、長期間にわたり計画し実施すべきものであることから、社会資本整備総合交付金を活用した公営住宅等の整備を進めるとともに、更なる移住・定住の促進に向け、今後、ゼロカーボン施策などと連動した民間賃貸住宅建設に係る支援策などの各種施策について検討してまいります。</p> <p>② 空き家が流動化しない要因の一つとして、「家財処分に手間と費用を要する」旨の意見が、空き家相談窓口に数多く寄せられております。</p> <p>それらを軽減・解消することで空き家の流動化が促進されるものと考えられることから、関係部署と連携を図りながら、家財整理費用等に係る支援策について、検討を始めております。</p>